

## 令和5年度国立大学法人東京海洋大学第3回経営協議会議事要録

日 時 令和5年12月14日（木）14：00～15：40

場 所 白鷹館 多目的スペース1（品川地区）及び Webexによるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、池田委員、井手委員、井上委員、荻上委員、関根委員、  
松本委員、舞田理事、金岡理事、桑田理事（兼事務局長）、工藤理事、渡辺理事

オブザーバー 青山監事、婁副学長、黒瀬学長補佐、廣野学長補佐、横田学長補佐  
後藤海洋生命科学部長、宮本海洋資源環境学部長

事務担当者 永井総務部長、塚本財務部長、小野学務部長、平尾総務課長ほか事務関係者

### 議 事

#### 【審議事項】

#### 1 「重要な財産の譲渡」について

桑田理事から、資料1に基づき、重要な財産の譲渡について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 2 中期計画の変更について

学長から、資料2に基づき、中期計画の変更について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 【報告事項】

#### 1 理事等の役割分担の変更について

学長から、資料3に基づき、理事等の役割分担の変更について報告があった。

#### 2 ミュージアム機構長の交代について

学長から、資料4に基づき、ミュージアム機構長の交代について報告があった。

#### 3 学長選考に関する規則の一部改正について

桑田理事から、資料5に基づき、学長選考に関する規則の一部改正について報告があった。

#### 【意見交換】

#### 1 博士後期課程学生の支援について

（SPRING（次世代研究者挑戦的研究プログラム）など）

学長から、資料6に基づき、博士課程学生の経済的支援について説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

- 東京海洋大学が熱心に学生支援を行っていることが分かった。新プログラムについて、不採用になった学生や一般の学生でもプログラムの受講機会が与えられることはとても良いことだと思う。博士後期課程の学生は留学生が非常に多い印象だが、これまで支援してきた学生には留学生も含まれるのか。また、留学生への支援についてどのように考えているか。
- 国費外国人留学生は、制度上、支援の対象外であるが、私費外国人留学生は現行のプログラムでも対象となっており、区別なく採択されている。将来的には、優秀な留学生を受け入れ、修了後に日本で活躍いただきたいと考えているため、留学生への支援は大きな意味を持っていると考えている。
  
- 学生への支援体制を設計する上で、今の学生が修了後のキャリアについてどのように考えているのかを把握することが重要。
  
- 海洋AIコンソーシアムの参加企業について、メーカーが少ない印象を受けた。造船や船用機器のメーカーはAI人材を必要としていると思う。東京海洋大学は実学に根差した教育を行っており、メーカーとの関係も重要だと思うので、そういった企業へコンソーシアムへの参加を打診してはどうか。
- コンソーシアムの裾野を広げることはプログラムの1番の課題と認識している。今後開催するセミナーの開催案内については、挙げられた企業への送付を検討する。
  
- 意見交換のテーマや想定される議題については、年間予定として早めに提示頂けると実りある議論ができるのではないか。
- 来年度は可能なものについては年度当初に提示することも含め、対応等を検討させていただきたい。

以上

配付資料

○令和5年度第2回経営協議会議事要録

資料1 「重要な財産の譲渡」について

資料2 国立大学法人東京海洋大学の中期計画新旧対照表（案）

資料3 理事等の役割分担について

資料4 令和5年度東京海洋大学附属図書館長、ミュージアム機構長、  
総合情報基盤センター長、学内共同利用施設長について

資料5 国立大学法人東京海洋大学学長選考等規則の一部改正について 他

資料6 博士後期課程学生の支援について